

11/24 (日)

13:00~

15:00

京都文教大学ともいきフェス企画
体験者による

「DV被害」の語り

申込み不要
参加費無料

場所：京都文教大学 14号館14201教室

第1部 基調講演 「DV被害について」

13:00~14:00

講演者：
坂本 未希氏
(DVGsラボ代表)



プロフィール

龍谷大学大学院政策学研究科修士課程修了。DV被害経験の苦悩から大学院にて被害者の視点でDV被害者の現状と多様な支援策の機能的環境の構築について研究。支援者のネットワーキング、多様な支援環境の構築に向けた政策提言活動、DV被害の現状や課題に関する講演活動などを多数実施。

この度の講演会では、以下の内容についてお話しさせていただきます。まず、私自身のDV（ドメスティック・バイオレンス）被害の体験についてお話しします。DV被害からの避難、調停、裁判を経ての離婚に加え、DVによって引き起こされた複雑性PTSDや鬱、PMDD、一人親子育て、経済的困窮（生活保護）、障害を抱えながらの就労など、多くの課題に直面しました。

次に、離婚から12年が経過した後、大学院で学ぶ機会を得ました。大学院では、DV被害による「最初のGoal」と「その後の多様なGoals」について研究し、修士論文を執筆しました。この学びの過程で得た知識とネットワークは、一度死んだ私の心を癒し、再起させるものとなりました。また、社会的孤立から脱し、多様なネットワークの支援を受けながら就労の機会を得ることができ、約15年間の生活保護からの脱却を実現しました。私が設立したDVGsラボについてもご紹介いたします。DVGsラボは、DV被害者が暴力から逃れた後に必要となる「多様な目標の設計（Designs of Various Goals）」の研究、支援や資源の開拓、教育・啓発活動を通じて理解を促進することを目的・使命としています。

最後に、現在の活動と今後の展望についてお話しします。DV被害者の再起には、個人の努力だけでなく、社会全体の理解と支援が不可欠です。この講演を通じて、DV問題についての理解を深め、共に解決策を考える一助となることを願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

坂本 未希

第2部 ヒューマンライブラリー

14:10~14:30、14:35~14:55 の2セッション実施いたします。

ヒューマンライブラリーとは？

別名：生きた図書館と呼ばれます。マイノリティの方たちの生きづらさを伝えるため、生きた人間を「本」として貸し出し、読者（参加者）との対話時間を設ける催しです。

~「本」のご紹介~

じゃまいかさん

「夫婦間のDVについて」

夫婦間のDVにより避難や離婚を経験しました。調停の実体験のもと、リアルなDV体験を語ります。

やまさきさん

「幸せになるつもり だったのに…」

子どもの頃の虐待から逃げるために結婚したはずが、夫からのDV被害に遭うことになりました。

マークさん

「児童虐待を経験して」

小学校3年生から18歳まで母親からは虐待を受け、学校ではいじめを経験し、精神疾患を発症しました。

当日の受付時に、どの「本」を借りるか確認を行います。
フェス企画に関する内容は下記の連絡先までお問合せください。

【お問い合わせ先】
京都文教大学・短期大学
社会連携部 フィールドリサーチオフィス
〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80番地
TEL: 0774-25-2630
MAIL: fro@po.kbu.ac.jp

近鉄向島駅より
シャトルバス有り

ともいきフェス

使用素材：イラスト緑花 (<https://illust-ryokka.jp>)

